

【別添】

2020年6月15日（第1版）

「高齢者の術後日常生活活動に影響する因子の解析」
実施に関するお知らせ

（独）国立病院機構本部総合研究センターでは、患者さんに提供する医療の質の向上を図ることを目的として、（独）国立病院機構に属する病院の電子カルテおよびレセプト/DPCデータ情報のうち、本研究に必要となるデータ（医療行為や医療情報など）のみを抽出して活用し、診療情報分析研究を実施することとなりました。本研究の目的、内容は以下のとおりになります。

1. 研究の目的

機構病院で大腿骨近位部骨折あるいは大腸がんの手術をお受けになった患者さんの診療等を通して集積された診療情報からデータを抽出し、術後の日常生活活動に関連する因子を分析し、今後のより良い術後管理に向けて指針を得る事が本研究の目的です。

2. 研究の概要

2016年1月1日から2020年3月31日の期間に、国立病院機構に属する病院で大腿骨近位部骨折あるいは大腸がんの手術をお受けになった患者さんの診療情報が本研究の対象になります。

患者さんの診療情報は、①厚生労働省が実施している「DPC導入の影響評価に関する調査に提出しているデータ」と②「診療内容を記載した診療報酬明細書（レセプト）のデータ」と③電子カルテ内の検査データを含む診療情報を二次的に利用させていただくこととなります。具体的には、患者さんに提供させていただいた医療行為（手術、検査、処置、麻酔、薬剤処方等）に係わる情報となります。

本研究は、あくまで日常診療から集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様へ何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

3. 個人情報の保護について

本研究で利用させていただく個人情報は、国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部（東京都目黒区）のセキュリティールーム内で患者さん個人が直接特定できないよう匿名化情報に加工した後に分析を行います。また、匿名化したデータも厳格に管理、保護いたしますので、プライバシーに係る個人情報が外部に漏洩する事は一切ございません。

なお、本研究の成果に関しては、患者や国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります。集団を記述した数値データとし、患者さん個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

本研究についてご質問等がある場合、また、ご自身の情報を本研究に利用することにご了承いただけない場合、その他苦情がある場合などがございましたら、下記窓口までご連絡ください。その場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

〒152-8621東京都目黒区東が丘2-5-21

国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部 堀口裕正

TEL: 03-5712-5133

〒300-8585茨城県土浦市下高津2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 麻酔科 福田妙子

TEL:029-822-5050